

公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館

令和3年度事業報告

I. 公益目的事業の状況

1. 入園者数について

庭園事業および美術館事業の最近3年間の入園者数および入園料売上は以下の表の通りである。また最近10年間の日本人、外国人別年間入園者数は図の通りである。

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響による入園者の減少を受けて、経費節減のため、令和3年5月19日（水）から火曜日の定休日に加えて水曜日を臨時休園日とした。

最近3年間の入園者数・入園料売上

料金区分		平成 31年	料金区分	令和 2年	令和 3年	対前年度 比
入 園 者 数 (人)	一般 (@900)	48,530	一般 (@1,200)	6,914	6,793	98.2 %
	大学生 (@810)	3,004	高・大学生 (@500)	679	800	117.8 %
	中・高生 (@500)	2,299				
	小学生 (@300)	1,326	小・中学生 (@300)	327	672	205.5 %
	特別 (@500)	1,219	特別 (@500)	703	743	105.7 %
	団体 (@810)	8,745	団体 (@1,000)	1,738	2,669	153.6 %
	合計	65,123	合計	10,361	11,677	112.7 %
	外国人 (内数)	44,676	外国人 (内数)	613	525	85.6 %
入園料売上 (円)	55,261,920	入園料売上 (円)	10,855,200	11,762,300	108.4 %	

営業日数 (日)	施設	平成 31年	施設	令和 2年	令和 3年	対前年度比
	庭園	306	庭園	240	257	+ 17 日
	美術館	249	美術館	201	190	△ 11 日
	三秀	306	三秀	240	257	+ 17 日

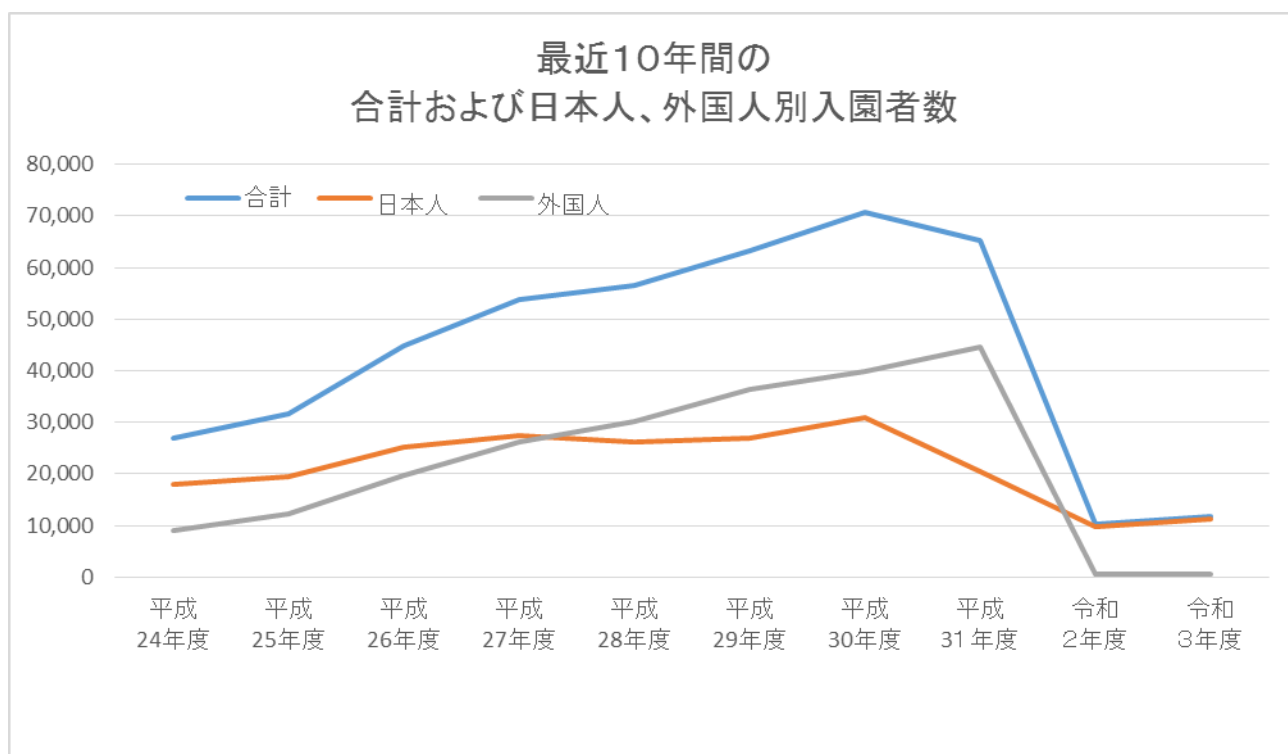
(注 1) 令和2年4月1日より料金区分および料金を変更。

(注 2) 料金区分変更に伴い、従来の15名以上の団体扱いを中止した。(令和4年4月1日より復活する。)ただし、料金割引提携を行っている団体には、団体料金を適用する。

(注 3) 令和2年度は、4月、5月を休園・休館とした。

(注 4) 令和3年度は、5月19日から火曜日の定休日以外に水曜日を臨時休園・休館日とした。

最近10年間の入園者数合計および、日本人、外国人別入園者数はそれぞれ以下の通りである。また、過去10年間の月別入園者数は別紙のとおりである。



令和3年度の入園者は前年度比12.7%増加したが、昨年度と同様、新型コロナウイルスの影響で外国人の入園者数が、ほぼ皆無となったため、新型コロナウイルスの影響がなかった平成31年度比17.9%と昨年度(15.9%)同様大幅な落ち込みとなった。

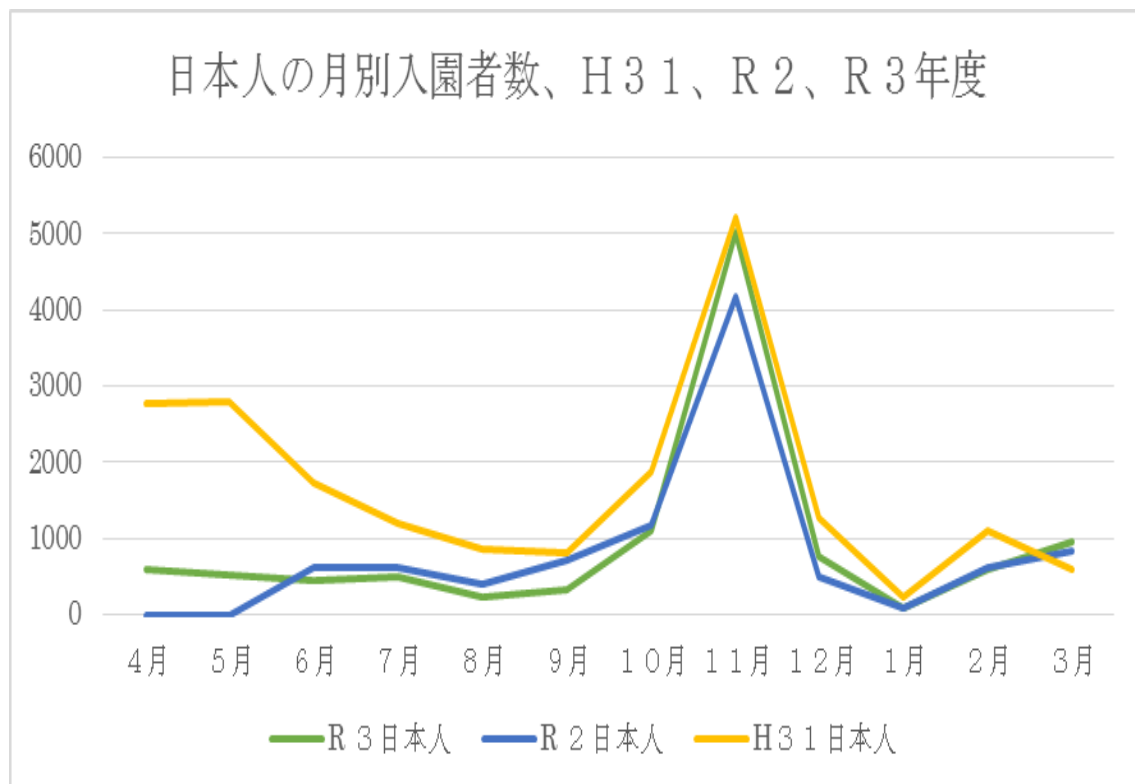
前年度との比較で入園者数が12.7%増加しているが、昨年度全国的に緊急事態宣言、緊急事態措置を受けて4月、5月を休園としたこと、今年度は5月19日より水曜日を臨時休園としたため、一日当たりの入園者数で比べると令和3年度は45.4人/日、令和2年度は43.2人/日と一日当たり2人(5.1%)増となっている。

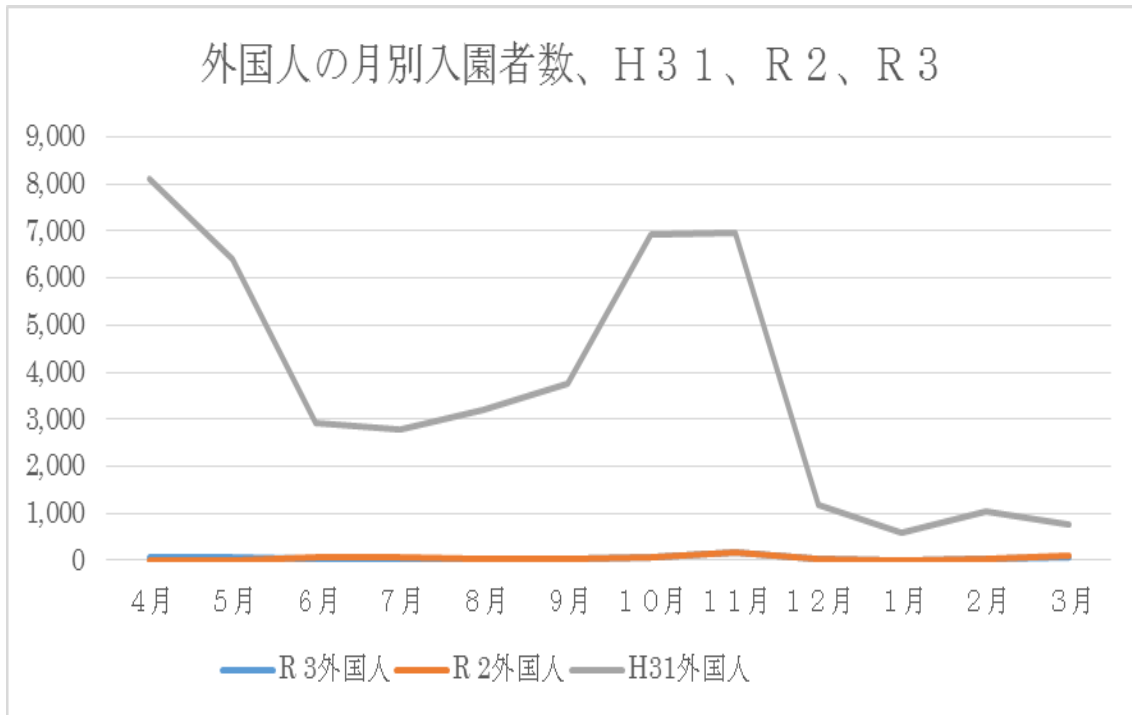
団体料金区分が大幅に増加しているのは、JAF会員割引扱いによる。(令和3年度のJAF会員取扱は、1,634人。取扱いは令和2年10月1日より。)一般と団体のお客様合計比較では、前年度比109.4%と増加している。

また、修学旅行が復活してきており、高・大生、小・中学生が増えている。

入園者数の対前年度比12.7%の増加に対して、入園料売上が8.4%増にとどまっているのは、割引取扱い、高・大生、小・中学生の増加による。

日本人と外国人別の数字をグラフ化すると以下の通りである。





今年度、昨年度とも新型コロナウイルスの影響で外国人入園者がほとんど望めない中、日本人の入園者数は、前年度より14%増となっている。ただし、昨年度は4月・5月は緊急事態宣言の発出により、休園・休館となっており、6月～3月で比較すると前年度より3%増となっている。11月、12月の紅葉時期は、昨年より入館者が増加しており（11月だけを見ると新型コロナウイルスの影響がない平成31年度の96%となっている。）また、3月は昨年度同様コロナ前の入園者数を上回った。長く続いた外出自粛の反動が出たものと思われる。しかしながら、年度を通してみると新型コロナウイルスの影響がなかった平成31年度と比べると日本人は、49%に留まっている。

2. 美術館活動について

(1) 企画展

コロナ禍で入園者数減少の為、定休日火曜日に加え、令和3年5月19日(水)から令和4年3月末まで、水曜日を臨時休園（休館）とした。ただし、紅葉時期の11月17日、11月25日、12月1日の水曜日は開園（開館）とした。

【前期展】：「花をたずねて」

会 期：4月7日（水）～7月26日（月）

87日間

*5/4(火)・5/5(水)は開園（開館）し5/6(木)は休園（休館）とした。

6/1(火)は依水園開園記念日のため開園（開館）した。

概 要：依水園の庭園が芽吹きを迎える季節に、花をテーマとした美術作品25件を展示した。絵画をはじめ、^{かべん}花弁のかたちを意匠に取り入れた陶磁器・鏡などの金工品・漆器など、収蔵している日本・中国・朝鮮半島の作品群から時代を超えて

幅広く展示した。野山をめぐって小さな花に出会うような、作品中に花をさがす趣向の展示とした。

入館者数 1, 872人

展示内容：

<企画室>花鳥図屏風、花鳥図襖、瓦、鏡、茶碗、鉢、皿、盒子

2020年度 出光文化福祉財団「美術品修復事業助成」を受けて修復された山本梅逸花鳥図屏風(二曲一双)を修復後初めて公開した。その際、観覧者に文化財の修復事業への理解を深めていただくため、これら修復作業の流れを写真と解説を交えてパネル表示した。

《展示数 25件》

<常設室>中国の帯鉤・印章、韓国の陶磁器、日本の陶磁器 《展示数 14件》

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第一図「雲無心」

展示期間：4月7日(水)～22日(木)

【後期展】：「加藤慈雨楼一磁印凜々」

会期：8月12日(木)～12月26日(日)

98日間

*9/21(火)～9/28(火)は庭園整備期間で閉園・閉館とした。

概要：清水の陶工にして在野の中国古印研究者であった加藤慈雨楼(1904-2000)の事績を紹介する、はじめての回顧展を開催した。2016年から2021年にかけて慈雨楼氏のご遺族より関係資料を受贈したことにより開催したものである。

入館者数 6, 309人

展示内容：

<企画室・常設室>

加藤慈雨楼 磁印「蘭亭序」分刻(「蘭亭序」を緻密な入れ子式の磁印に表した作品)・白磁獣鈕印「般若心経」(般若心経を8センチメートル四方に刻した磁印大覚寺蔵)・海鼠釉八稜形茶心壺・自刻印印影・『平盒蔵(園田湖城)古璽印選』、中国史書研究資料など

陶芸技術と中国古印の学問的研究に裏打ちされた作品群により、加藤氏が篆刻工芸のさらなる可能性を広げたことおよび、加藤氏の地道な研究の積み重ねの尊さがわかる展示とした。

《展示数 51件》

◆特別陳列 重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖 第二図「水天空濶」

展示期間：11月1日(月)～17日(水)

※美術館は、令和4年1月～3月末までイベント等開催の為閉館とし、その間学芸部は美術品の資料整理及び次回展示の準備と研究期間とした。

(2) 依水園開園記念日特別展示

令和3年6月1日(火) 入園料金：500円

平成27年度より始めている、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年も継続して実施した。ただし、例年美術館外廊下に依水園のあゆみパネルを設置するが、昨年に続き今年も密を避けるため中止とした。また同様に、この日の恒例行事

となっていた煎茶美風流家元中谷美風氏による煎茶道を体験してもらうイベントも中止とした。

入園者数 48人

(3) 美術品の貸出

作品：森川杜園 一刀彫「融」、人形下絵貼交小屏風 2件
貸出先：奈良県立美術館
展覧会：特別展「生誕200周年記念 森川杜園展」
会期：令和3年9月23日（木・祝）～11月14日（日）
展示期間：後期 令和3年10月19日（火）～11月14日（日）

(4) 所蔵品の閲覧

① 作品：「太子成道変文(伝敦煌文書)」
閲覧者：広島大学 大学院総合科学研究科 荒見泰史教授他2名
閲覧日：令和3年10月30日（土）2時間 当館対応2名

(5) 寄贈申入れ作品等

① 寄贈者：加藤輝雄氏（中村準一、準佑と交流のあった陶芸家加藤慈雨楼氏の三男）
寄贈作品：加藤慈雨楼の作品及び研究資料等 575件
② 寄贈者：藤澤千曲氏（書家・扶桑書道会理事長、父藤澤赤心氏が園田湖城の弟子）
寄贈作品：園田湖城筆掲額「古歎」、長尾雨山筆掛幅「力耕不吾欺」、印譜等 6件
③ 寄贈者：永井信尚氏（祖父永井林造氏が中村隼策と交流）
寄贈作品：中村家関係書簡とハガキ（永井林造宛 中村準策・富貴・準佑） 2件

(6) 依水園關家関連品の購入 計2万円

① 黒漆巴紋四重広蓋 3,000円
② 「大阪朝日新聞」（大正12.9.2-9.30、関東大震災の翌日から1か月）
「大阪毎日新聞」（昭和9.9.22-29、室戸台風の翌日から1か月）
他5部（重要文化財 田能村竹田 亦復一楽帖関連資料） 3,000円
③ 「貞丈雑記」（江戸後期の有職故実本版本、一冊欠） 31冊 8,000円
④ 瓦片 6点、土器片 7点 6,000円

(7) 当館所蔵品に対する所見を専門家に依頼

① 所蔵品：仏教関係（地藏菩薩立像、塙仏等） 13点
依頼日：12月16日（木）
専門家：奈良国立博物館特別研究員 岩田茂樹
所見内容：製作年代、材質等
② 所蔵品：焼き締め陶器・考古資料等 20点
依頼日：12月17日（金）
専門家：京都国立博物館学芸部長 尾野善裕
所見内容：製作年代、製作地、技法等

(8)「依水園のひなまつり」の開催

平成30年度の初回から毎年度、今年も「依水園のひなまつり」を開催

期 間：令和4年2月7日（月）～3月6日（日）

24日間

場 所：主屋立礼の間・藤の間

観覧料：1,200円（入園料を含む）

内 容：「曲水の宴」の平飾りのひな人形・五段飾り稚児雛人形

新型コロナウイルス対策として、定員10名とし、チェックポイントのパネルを増やすことで極力職員による説明をなくした。

展示品は、依水園の前所有者である關 藤次郎が孫娘の初節句に贈った「曲水の宴」の平飾りひな人形をはじめとして、稚児雛、市松人形等關 藤次郎の縁者より当財団に寄贈されたものである。

入館者数 832人

入館者数は昨年度631人に対して32%増加した。ただし開催期間は19日から24日に増えており1日あたりはほぼ同じであり、一昨年の入館者数1,726人に対しては52%減少した。

3. 広報宣伝、営業企画活動等について

(1) プレスリリース

美術館企画展（前期・後期）、依水園開園記念日等催しに関してプレスリリースを実施した。

(2) リーフレット作成

企画展、お茶室見学会、依水園のひなまつりに関してリーフレット（A4両面）を作成し市内観光案内所、ホテル等に配布を依頼した。

(3) 職員による庭園案内を令和2年6月より開始

新型コロナウイルス感染防止のため、お客様には積極的にアプローチを行っていない。

(4) Twitter を令和2年11月から、Facebook を令和2年12月から開始し、現在も継続して実施している。

(5) KCN（近鉄ケーブルネットワーク）の放映

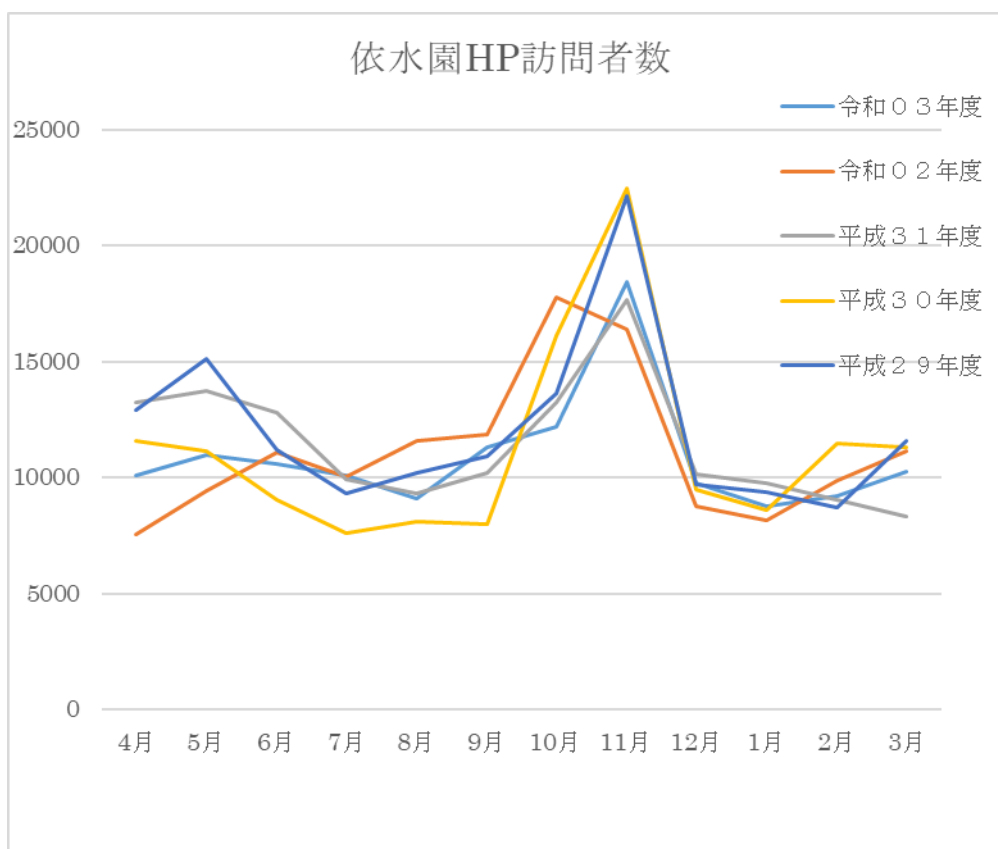
普段の観光を「より分かりやすく・より楽しく」訪れるために、ボランティアガイドおすすめのスポットを紹介。

番組名：地上11ch KCN ファミリーチャンネル 情報発信スタジオ「Nスタ!」

放 送：2021年11月30日～12月5日（計14回放送）

(6) ホームページ

平成29年度から令和4年度までの依水園 HP 訪問者数は下記グラフの通りである。



入園者数と異なり、HP 訪問者数のグラフの5年間の傾向は、大きくは変わらない。令和3年度の合計アクセス数は、130,859件であり前年度に比べて98%であった。前年度は入園者数の激減にもかかわらず、HPの訪問者数は前々年度とほとんど変わらないどころか、月によっては過去最高であった。今年度も合計は前年度並みであり、また7月に限っては過去最高であったことから、コロナ終息後日本人の入園客が早期に回復することを予想させる。

今期のホームページの花だよりは合計29枚の開花状況の写真の更新（前年度25枚）を行った。

(7) トリップアドバイザー (<https://www.tripadvisor.jp>)

依水園は令和元年5月に世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」の「エクセレンス認証 2019(Certificate of Excellence)」を受賞して、5年連続この認証の受賞となり、Certificate of Excellence Hall of Fame（いわゆる殿堂入り）を受賞した。2020年度もトラベラーズチョイス（エクセレンス認証を2020年度から名称変更）に選ばれている。しかし2021年度のトラベラーズチョイスには何故か選ばれていない。後述の奈良市の観光スポットでは1位から8位（4位の奈良国立博物館を除く）と11位の若草山がトラベラーズチョイスに選ばれている。トリップアドバイザーは、「旅行者から一貫して高評価の口コミを獲得し、かつトリップアドバイザーに掲載されている施設の上位10%にランクインした宿泊施設、観光スポット、お

よびレストランにトラベラーズチョイスアワードを授与します」と述べているので、後述の通り今年度はコメントが少なかったのが原因かもしれない。

令和4年4月25日現在で、旅行客のコメントでの評価は、486件中とても良い303、良い122、普通51、悪い9、とても悪い1、で平均4.5であり、昨年度とほとんど変化はない。

コメントの言語別は英語276、日本語87、中国語（簡）68、中国語（繁）66、フランス語32、イタリア語23、スペイン語21、他44（ポルトガル語、ドイツ語、ロシア語等）、総計617でこれもほぼ同じ。ただし英語の最新のコメントは令和2年1月の英国人のもの、日本語のコメントは今年度は令和3年12月の1件のみ。

奈良市の観光地での順位は、依水園は9位（昨年2月は7位、5月は9位）で、ベスト10は、奈良公園、東大寺、春日大社、奈良国立博物館、東大寺二月堂、唐招提寺、興福寺、奈良県猿沢ビジターセンター&イン、依水園、奈良町の順である。

4. 補助金事業について

昨年度は、柳生堂の屋根葺き替え、蔵の修理の補助金事業が認められ実施した。事業費20,000千円（内訳 12,000千円が文化庁補助額、3,000千円が県補助額、2,800千円が市補助額、2,200千円が当財団負担額）

今年度は、引き続き柳生堂の屋根葺き替えの補助金事業が認められ実施した。事業費24,000千円（内訳 12,000千円が文化庁補助額、3,600千円が県補助額、2,640千円が市補助額、5,760千円が当財団負担額）

5. 文化活動について

(1) 依水園文化講演会

例年講師を招いて行っている文化講演会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により中止とした。

(2) 庭園大研究会

当財団主催の事業として16年目を迎えた、庭師育成の「庭園大研究会」は講師牧岡一生氏（庭舎 MAKIOKA 代表）の講義、実習とお茶の実習による月例（月1回第2日曜）の講習会を約20名の受講者を対象に継続開催中である。（新型コロナウイルスの影響により中止した月もある。）今年度の実施月は4月、7月、11月、12月、3月の計5回。

(3) お茶室見学会

平成25年より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会開催時期に合わせて、園内の茶室を公開する「依水園お茶室見学会」を開催した。今年度も新型コロナウイルス対策を行い予約制、1日の回数を2回（前年度3回）、定員を1回6名（前年度1回4名）までとして開催した。また、お菓子を最中・干菓子から生菓子に変更した。

期 間：令和4年2月3日（木）～2月6日（日） 4日間

時 間：午前の部 10：30 ～、午後の部 13：30 ～（所要時間 80 分）

定 員：1回6名以内 要予約

参加費：3, 500円

内 容：裏千家十二代 又妙斎の指導により、明治時代に造られた清秀庵や氷心亭の内部を、解説を交えて案内。さまざまな自然の素材を組み合わせてつくられた数寄屋建築の魅力を説明する。また、一般公開に先駆けて依水園ゆかりのひな人形を見学する。 参加者数 38人

参加者数は昨年度25人に対して52%増加した。

(4) 奈良工芸の粋

期 間：令和4年3月17日（木）～3月21日（月） 5日間

平成29年度より毎年3月に奈良新聞社が主催する、「奈良工芸の粋」展会場として当園の美術館、主屋、茶室等を貸出し、奈良漆器、赤膚焼、一刀彫等の奈良の工芸品の展示、販売、茶席開設に協力している。今年度も奈良工芸の発展を支援するため会場として美術館、主屋、茶室等の貸出を継続して行った。

入場者数 1, 341人

入場者数は昨年度1, 246人に対して8%増加した。

6. その他

(1) 寄贈美術品の評価額について

今年度から来年度にかけて、近年寄贈頂いた美術品について評価額を決定し、特定資産に計上できるよう手続きを進める予定である。

(今年度実施寄贈美術品等)

- ① 「曲水の宴」の雛飾りをはじめ關 藤次郎に関する寄贈品 15件
- ② 近古名胄十二種（三段飾り）をはじめ關 信太郎に関する寄贈品 3件
- ③ 道具番帳をはじめ關 藤次郎に関する寄贈品 11件

II. 収益事業の状況

令和3年度の収益事業のうち、飲食事業の売上、費用、損益はそれぞれ以下の通りであった。

【前年比較】

収益（含む雑収益）	5, 585千円（前年度 4, 450千円）	前年度比	126%
費用	9, 068千円（前年度 8, 088千円）	前年度比	112%
損益	△3, 482千円（前年度△3, 638千円）	前年度比	96%

【前々年度比較】

収益（含む雑収益）	5,585千円（前々年度 11,552千円）	前々年度比	48%
費用	9,068千円（前々年度 12,515千円）	前々年度比	72%
損益	△3,482千円（前々年度△963千円）	前々年度比	362%

今年度及び前年度の収益には雇用調整助成金がそれぞれ1,153千円、869千円含まれる。また費用にもこれに相当する金額が事業に実際に要した費用に、上乘せされている。(休業補償給与として支払われている。)利益は、これらの影響を受けない。

これらを考慮すると、収益(売上)は前年度比24%増加(3,581千円→4,432千円)したが、新型コロナウイルスの影響がなかった前々年度の38%となっており、厳しい状況である(日本人入園者は前々年度比49%)。

食事及び抹茶の売上は、前年度比較食事が22%増、抹茶が2%減となっている。

費用は前年度に比べ約696千円増(7,219千円→7,915千円)となっている。内訳は、事業原価で約390千円増、給与手当・役員報酬で約306千円増が主なところである。

物販事業は、雇用調整助成金の影響は少ないので、これを含め収益383千円(前年度317千円、前々年度750千円)、費用738千円(前年度645千円、前々年度1,281千円)で損益-356千円(前年度-328千円、前々年度-531千円)と昨年同様赤字となった。

不動産事業は、平成30年度から貸家4軒がすべて空き家となり、収入は館舎の家賃のみである、従って減価償却費、固定資産税等がほぼそのまま赤字となり、損益は1,979千円の赤字となった。空き地の活用方法については、継続検討中であり、今年度も特に具体化はされなかった。なお、奈良市よりの危険家屋対策の要請に応じて家屋の取り壊し中である。

Ⅲ. 庶務事項

1. 組織・人員等

(1) 主要事項

なし

(2) 人員(令和4年3月31日 現在)

理事	6名(うち常勤2名)
監事	2名(非常勤)
評議員	5名(非常勤)
職員	26名

2. 役員会

(1) 評議員会

① 定時評議員会(令和3年6月22日 依水園会議室 WEB会議)

議題 第1号議案 令和2年度財務諸表及び財産目録の承認について

第2号議案 監事の選任について

報告事項 ・令和2年度事業報告について

・南評議員辞任に伴う評議員の選任について

(2) 理事会

①第1回理事会（令和3年6月3日 依水園会議室 WEB会議）

議題 第1号議案 令和2年度事業報告書並びに財務諸表及び財産目録の承認について

第2号議案 評議員、役員（監事）選定について

第3号議案 定時評議員会招集について

報告事項 ・代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告
・運用財産特定資産の運用方法について
・貸家の土地売却交渉の進捗状況及び活用案について

②第2回理事会（令和4年3月4日 依水園会議室 WEB会議）

議題 第1号議案 令和4年度事業計画書案および収支予算書案並びに資金調達および重要な設備投資の見込み承認の件

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告

IV. その他

1. 新型コロナウイルス対応について

- (1) 昨年度は、令和2年3月29日（日）から5月31日（日）までの2ヶ月間、新型コロナウイルス感染予防対策及び緊急事態宣言により、休園・休館を実施した。今年度は、令和3年5月19日（水）より水曜日を臨時休園日とし現在も継続中である。ただし、11月3日（水）～12月1日（水）の間と「依水園のひなまつり」期間中の水曜日は開園とした。

(2) 新型コロナウイルス感染予防対策

(当園・当館の取組)

昨年度と同様

- ・職員は、検温発熱のないことを確認して出勤する。
- ・職員のマスク着用、手洗い、手指の消毒徹底。
- ・通常の清掃、消毒に加え、よく人が触れるところを随時消毒。
- ・定期的に展示室、部屋の換気実施。
- ・美術館入館者の上限を20人とする。お食事処三秀入店人数の上限を20名とする。

(お客様に対して)

- ・発熱等体調不良の方の入園・入館お断り。
- ・マスク着用の協力。
- ・他の方との距離を2メートル保っていただく。

2. 雇用調整助成金

①申請開始日 令和2年4月分給与から

②交付額

(円)

月	2020年5月	6月	7月	10月	11月
交付額	548,118	1,293,480	952,380	304,394	217,917
月	12月	2021年1月	2月	3月	2020年度合計
交付額	196,125	228,485	64,547	204,603	4,010,049
月	2021年4月	5月	6月	7月	8月
交付額	292,229	298,817	548,510	861,717	621,847
月	9月	10月	11月	12月	2022年1月
交付額	664,381	690,929	848,524	683,416	555,879
月	2月	3月			2021年度合計
交付額	287,031	429,253			6,782,533

3. 文化庁令和2年度第3次補正予算事業（ARTS for the future）補助金交付申請

- ① 事業内容：コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業
- ② 申請：令和3年9月17日付
- ③ 交付決定通知：令和3年11月12日付 補助上限区分Ⅰ（6,000,000円）
- ④ 実績報告書提出：令和4年1月8日付
なお、交付決定通知後AFFロゴを館内に表示する。
- ⑤ 補助金確定通知書：令和4年3月30日付
確定額3,002,000円

4. 令和2年度文化芸術振興費補助金（文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業）

- ① 申請日：令和3年6月22日付
- ② 交付決定通知：令和4年3月10日付 24,000円（上限）
- ③ 確定通知書：令和4年4月18日付 23,035円

5. GO TO トラベル事業・奈良 GO TO EAT キャンペーン・奈良県ワクチン接種で安心飲食キャンペーン

(1) GO TO トラベル事業

- ① 取扱開始日：令和2年10月17日
- ② 取扱期間：令和2年12月29日から当分の間利用延期のため、令和3年度については、取り扱いはない。
- ③ 取扱金額（昨年度参考）
（令和2年12月25日まで）
紙 515,000円
電子 229,000円
合計 744,000円（10月～12月までの総売上の約8%）

(2) 奈良 GO TO EAT キャンペーン

- ① 取扱開始日 : 令和2年10月23日
- ② 利用期間 : 令和4年2月28日まで
- ③ 取扱金額 : ・令和2年度 107,500円
・令和3年度 19,000円

(3) 奈良県ワクチン接種で安心飲食キャンペーン

① 奈良県新型コロナウイルス感染防止対策施設認証

- ・申請日 : 令和3年8月20日
- ・認証日 : 令和3年9月26日 (認証区分 2つ星)

② 奈良県ワクチン接種で安心飲食キャンペーン

- ・概要 : 奈良県新型コロナウイルス感染防止対策施設認証を取得した飲食店において利用できる飲食クーポン (おひとり 3,000円) をワクチン接種した奈良県民 20万人に抽選で配布する。
- ・申込日 : 令和3年11月5日
- ・取扱期間 : 令和3年12月10日～令和4年1月31日
- ・取扱実績 : 6,000円

以上